

オンラインセミナー  
「建設未来フォーラム」  
2023年度 報告書

2023年10月

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

2020年から14回開催してきたオンライン・セミナー「建設未来フォーラム」。  
実践的な情報発信事業として、読者、取引先から評価をいただきました。

今年10月創刊95周年を迎える日刊建設工業新聞社では4月から、創刊記念事業として10回程度のシリーズ展開を図るとともに、年度末に採録特集を発行いたします。  
並行して、企業のご協賛をいただくセミナーも開催してまいります。

95 事業  
建設未来フォーラム  
参加者募集

オンラインセミナー「建設未来フォーラム」は  
2020年から、実践的な情報発信事業として14回  
開催してきました。  
4月からは創刊95周年事業として、採録した  
内容で10冊程度の特集を発行いたします。

定員 300名  
(参加費無料・事前登録制・先着順)

4月20日 13:30~14:40  
第1部 13:30~14:40  
第2部 14:40~15:15

5月12日 14:00~15:15  
5月23日 13:30~14:30

主催：日刊建設工業新聞社

### 【オンライン・セミナー開催実績】

#### ◆2020年

① 1月10日 「残業45時間を突破（実現）する壁～Withコロナ 新たな時代の働き方～」

#### ◆2021年

- ② 4月15日 「時代の要請に応えるビジネスの創生」
- ③ 9月10日 「新現場力～新たな仕事の取り組み。各地現場に即時に情報を届ける、最新BtoBアプリの活用」
- ④ 9月22日 「BIMで活用できる外国人材の採用と可能性について」
- ⑤ 11月10日 「今からでも遅くない！改正電子帳簿保存法対策」
- ⑥ 11月18日 「DX時代～これからの建設現場と働き方」

#### ◆2022年

- ⑦ 1月27日 「BIMで儲ける仕組みづくりを徹底解説」
- ⑧ 4月18日 「次世代のために検討すべき事業継承・M&Aを活用した成長戦略とは？」
- ⑨ 5月24日 「建設産業の未来と建設DX」
- 5月27日 「『SDGsで世界をつなぐ』出版記念 ODAにおけるSDGsへの取り組み」
- ⑩ 6月9日 「建設業に待ち受ける2024年問題。押さえるべき労基署対策の傾向とポイント」
- ⑪ 9月6日 「基礎から学ぶ助成金・補助金活用術」
- ⑫ 10月13日 「データ活用でネクストステージへ～竹中工務店と清水建設の取り組み～」
- ⑬ 10月27日 「IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと1年！ 建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ PART 1」
- 11月8日 「現場DXセミナー～日本を元気にする“現場力”を語る」
- ⑭ 11月29日 「IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと1年！ 建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ PART 2」

○は特別企画として実施したものととなります。

実施日時：2023年4月20日（木）13:30～14:40

テーマ：国のかたちを考える

プログラム：

第一部：講演「国のかたちを考える」

講師：森昌文氏（内閣総理大臣補佐官）

第二部：講演「デジタル田園都市国家構想の推進による地方創生」

講師：市川篤志氏（内閣官房内閣審議官デジタル田園都市国家構想実現会議事務局次長）

参加者：約380名（申し込み約640名）

主催：日刊建設工業新聞社



デジタル実装タイプ：TYPE1の採択事例②

<p><b>教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン学習、デジタル教材（AIドリル）、遠隔合同授業など、デジタルを活用した、教育環境の充実化の取組</li> </ul> <p><b>デジタル実装事例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>39団体が導入</li> </ul>	<p><b>文化・スポーツ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館や図書館のデジタル化や、スポーツ観戦におけるデジタル活用を通じた、文化・スポーツの振興を図る取組</li> </ul> <p><b>デジタルミュージアム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術作品や歴史資料のデジタルアーカイブ化やメタバース・VRの活用により、文化財にふれあう機会を創出</li> </ul> <p><b>19団体が導入</b></p>
<p><b>個別最適化学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AI応用のデジタル教材を活用し、児童・生徒の状況に応じた個別最適が実現</li> </ul> <p><b>48団体が導入</b></p>	<p><b>アスリート育成プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AIカメラドローンを用いて練習・試合を撮影し、選手の動作等を分析することで、フォームの向上をサポート</li> </ul> <p><b>4団体が導入</b></p>



95th 建設未来フォーラム

第1部：国のかたちを考える  
講師：森 昌文氏（内閣総理大臣補佐官）

第2部：デジタル田園都市国家構想の推進による地方創生  
講師：市川篤志氏  
（内閣官房内閣審議官 デジタル田園都市国家構想実現会議 事務局次長）

2023年4月20日  
日刊建設工業新聞社

総合戦略の基本的考え方

デジタルの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも暮らしが便利で快適に暮らせる社会」を創出する。

東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を促し、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。

デジタルは国政の活用は、その実現の段階から実装の段階に直進しつつあり、デジタル実装に向けた各府県庁の取組の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、各地域の優良事例の積極的な実装を加速化。

これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、各府県庁の施策の充実・具体化を進めるとともに、総合ロードマップ（基本戦略）を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域にシヨクシヨクに向け、国は政府一丸となって総合的・協力的に支援する観点から、多様な組織間の連携を促すとともに、国庫の社会課題を抱える後進の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力も活用した地域課題の在り方や推進策を提示。（抄）

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた新たな主要KPI

2030年度までに全ての地方公共団体がデジタル実装に取り組みことを見直し、デジタル実装に取り組み地方公共団体を、2024年度までに1,000団体、2027年度までに1,500団体とする。

19

実施日時：2023年5月12日（火）14：00～15：15

テーマ：持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—

プログラム：

講演「持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—」

楠茂樹上智大学法学部教授（国土交通省持続可能な建設業に向けた環境整備検討会座長）

参加者：約180名（申し込み約280名）

主催：日刊建設工業新聞社



講演の狙い

- ・国土交通省（不動産・建設経済局）に設けられた「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」報告書について
- ・検討会開催の背景事情
- ・報告書のポイント、今後の対応についての情報を共有すること。

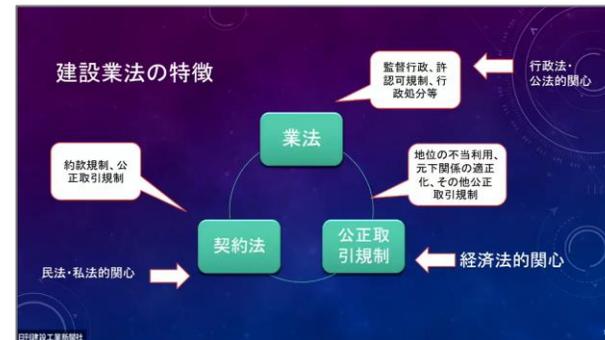
\*この講演において示される意見や展望については、(断りがない限り)講演者個人のものであって、国土交通省、あるいは「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」のものではない。  
\*以下「検討会」、「報告書」といった略記をすることがある。

95th ANNIVERSARY 建設未来フォーラム

持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—

講師：楠茂樹上智大学法学部教授  
（国土交通省持続可能な建設業に向けた環境整備検討会座長）

2023年5月12日  
日刊建設工業新聞社 白丸建設工業新聞社



実施日時：2023年5月23日（火）13:30～14:30

テーマ：観光の現状と今後の取り組み

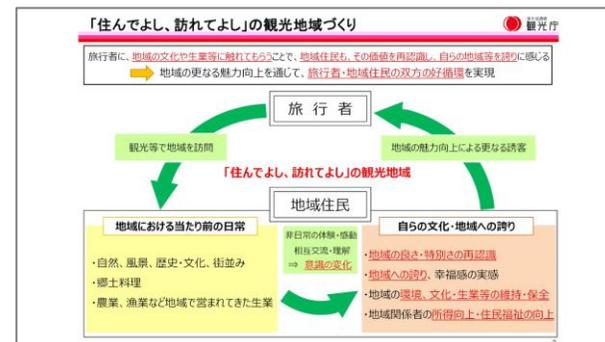
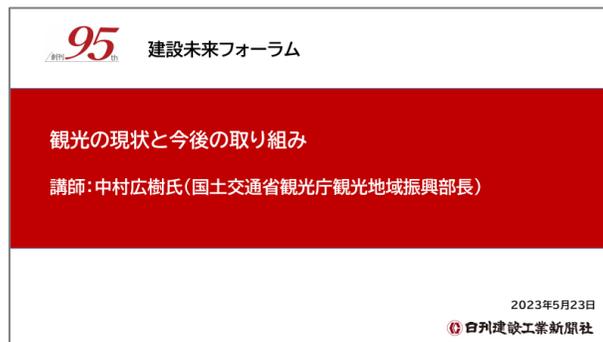
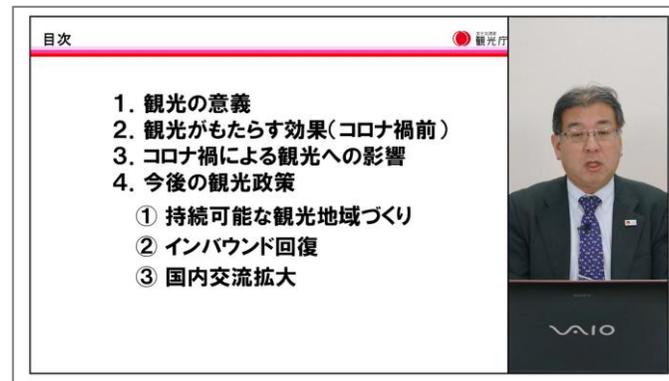
プログラム：

講演「観光の現状と今後の取組」

中村広樹氏（観光庁観光地域振興部長）

参加者：約100名（申し込み約140名）

主催：日刊建設工業新聞社



実施日時：2023年6月20日（火）13:30～14:30

テーマ：建設業界における2024年問題 —現状と課題—

プログラム：

基調講演「建設業における働き方改革の今後の展開について」

鈴木英二郎氏 厚生労働省労働基準局長

協賛社プレゼンテーション「free勤怠管理ソリューションについて」

和田矩明（わだ のりあき）氏 free株式会社 HR 事業部責任者

参加者：約310名（申し込み約440名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：free



第14次労働災害防止計画  
業種別の労働災害防止対策の推進（建設業）

建設事業者に取り組んでもらいたいこと

- ・墜落・転落のおそれのある箇所への囲い、手すり等の設置、フルハーネス型墜落制止器具の確実な使用
- ・はしご・脚立等の安全な使用の徹底等の実施
- ・墜落・転落災害防止に関するリスクアセスメントの実施
- ・作業場所の暑さ指数を測定し、屋根、休憩場所、通風・冷房設備を設置

働き方改革への具体的な対応策について

実施日時：2023年7月11日（火）13:30～14:40

テーマ：進化する建設DX～生産性向上とAI 最新の音声認識と画像認識の活用事例

プログラム：

基調講演「建設業における働き方改革の今後の展開について」

森下博之氏（国土交通省大臣官房参事官（イノベーション））

協賛社プレゼンテーション「現場の業務効率を飛躍的に向上させるAI技術」

立松克己氏 アドバンスト・メディア常務取締役経営推進本部長兼BDC本部長

参加者：約430名（申し込み約570名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：アドバンスト・メディア



**本日のまとめ**

国民の安全・安心を確保し、くらしや経済を支えるため、インフラの機能を、将来にわたって継続的に維持・向上することが必要

↓

デジタル技術とデータの方で、インフラを変え、国土を変え、社会を変える！

建設産業を若手や女性など関係なく、全ての人が活躍でき、最新技術を導入した「かっこいい」魅力ある仕事に！

**国土交通省では、令和5年をDXによる変革を加速する「躍進の年」として位置付けています。**

検査箇所一覧	
E1	X2 Y1
E1	X2 Y2
E3	X2 Y1
C1	X1 Y1
C2	X2 Y1
C3	X3 Y1
C4	X1 Y3
C5	X2 Y3
C6	X3 Y3
C01	X2 Y1
C01	X3 Y1
C1	X1 Y2
C5	X3 Y1

実施日時：2023年7月25日（火）13:30～15:30

テーマ：一気通貫で生産性向上を目指す～建設業界における営業DXの実践例と成功事例～

プログラム：

■ 第一部 基調講演「不動産建設データ活用推進協会の取り組みについて」

講師：青木由行氏（不動産適正取引推進機構理事長、不動産建設データ活用推進協会顧問）

■ 第二部 セールスフォース・ジャパン「営業DXによる一気通貫プロセス改革：建設業界での生産性向上の鍵」

講師：國本久成氏（セールスフォース・ジャパン インダストリーズトランスフォーメーション事業本部 コンシューマービジネスサービス ディレクター）

講師：万木孝幸氏（同 ソリューション・エンジニアリング統括本部 B2Cソリューション本部 プロフェッショナルサービス・TTH部シニアソリューションエンジニア）

■ 第三部 「生産性向上のためのDX：西松建設のデジタルトランスフォーメーション」

講師：井上貴文氏（西松建設 常務執行役員建築事業本部副本部長）、成田和俊氏（西松建設 執行役員建築事業本部副本部長）／聞き手：渡部克之氏（セールスフォース・ジャパン 執行役員）

■ 第四部 「中期経営計画の実現に向けた、営業と技術の情報統合への挑戦」

講師：菅浩一氏（日特建設常務執行役員技術開発本部長）／聞き手：渡部克之氏

参加者：約520名（申し込み約750名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：セールスフォース・ジャパン



# 第21回建設未来フォーラム

実施日時：2023年9月4日（月）14:00～15:45

テーマ：大林組・長谷工が語る！建設業界における攻めと守りのDX

プログラム：

## ■第一部 基調講演「建設業における『2024年問題』最新動向」

講師：日刊建設工業新聞社編集局部長 牧野洋久

## ■第二部 大林組が語る！建設業界の経理DXとこれからの経理業務の在り方

講師：高田佳明氏（大林組経理部長）、今井良祐氏（経理部副課長）

## ■第三部 外勤・内勤の全社員に共通する業務のデジタル化－間接業務から始める全社DX－

講師：越智佑馬氏（コンカー コマーシャル営業本部ゼネラルビジネス第二営業部部長）

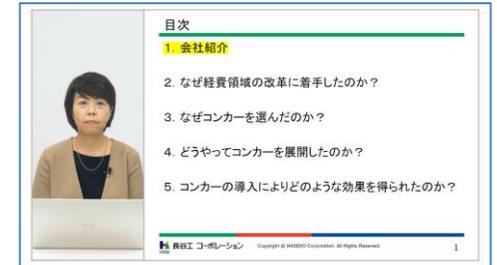
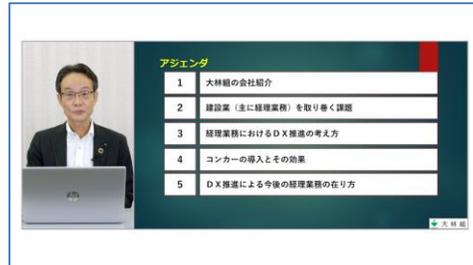
## ■第四部 長谷工グループ-間接費業務改革への取り組み

講師：遠藤妙子氏（長谷工コーポレーション経理部担当部長）

参加者：約400名（申し込み約560名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：コンカー



実施日時：2023年9月27日（水）13:30～14:30

テーマ：建設産業界に求められる新卒採用戦略—Z世代の就職活動と働き方—

プログラム：

講演「持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—」

長嶋哲夫（株式会社キャリア・ナビゲーション代表取締役）

参加者：約110名（申し込み約170名）

主催：日刊建設工業新聞社



**建築土木人材の市況について**

**事例** 学生と企業の交流会で、建設業の魅力についてプレストを実施

【インサイト】

- ① 学生側は「3K」という言葉を認知していない
- ② 企業側が思う建設業への魅力は学生側へも共通

**建築土木採用におけるベストプラクティス**

説明会参加: 100名

選考応募: 50名

内定: 20-30名

採用: 10名

**全体計画の策定**

採用予定数から逆算して必要な接点数を計算する

採用人数から逆算する

1. 10名採用（入社）の場合
2. → 25～30名の内定（合格）者が必要
3. → 50名選考応募者が必要
4. → 100名の自社説明会参加者が必要

**Z世代建築土木学生の動向**

**Z世代のキーワード**

- 1 居心地の良さ
- 2 同調志向
- 3 自己承認欲求

建築土木の採用現場でも、各学生への寄り添い、「共感」が求められている。

学生は自分からは前に出てこない。居心地が良い人と思った人・企業には秘めた自分自身を話してくれる傾向がある。

実施日時：2023年10月5日（木） 13:30～14:30

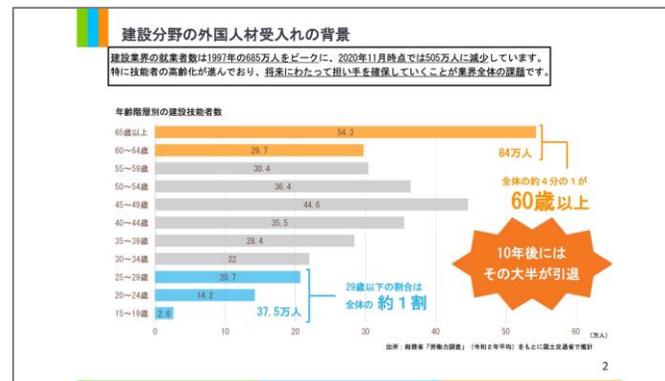
テーマ：優秀な外国人の受入れ増のためには、中長期的なキャリアパス構築がポイント  
プログラム：

講演「優秀な外国人の受入れ増のためには、中長期的なキャリアパス構築がポイント」

山本博之氏（建設技能人材機構専務理事）

参加者：約200名（申し込み約250名）

主催：日刊建設工業新聞社

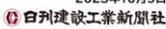



建設未来フォーラム

優秀な外国人の受入れ増のためには、  
中長期的なキャリアパス構築がポイント

講師：山本博之氏（一般社団法人建設技能人材機構 専務理事）

2023年10月5日






特定技能外国人制度について

～優秀な外国人の受入れ増のためには、中長期的なキャリアパス構築がポイント～

一般社団法人 建設技能人材機構（JAC）  
専務理事 山本博之

Japan Association for Construction Human Resources

## ■ 第1回 「“持続可能な建設業”のためのSDGs実践を考える」

実施日時：2023年9月20日（水）15:30～17:30（約120分）

参加者：約20名（申し込み約40名）

## ■ 第2回 「“持続可能な建設業”のための“社内浸透”を考える」

実施予定日：10月23日（月）

## ■ 第3回 12月12日（火）「未来の建設業を担う“サステナビリティ人材”」

実施予定日：12月12日（火）

### プログラム：

- 協賛社挨拶

- セミナーとグループディスカッション

講師：中川優氏（日本能率協会主任講師、2030SDGs 公認ファシリテーター）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：リバスタ LisB



創刊 95<sup>th</sup>

日刊建設工業新聞社